

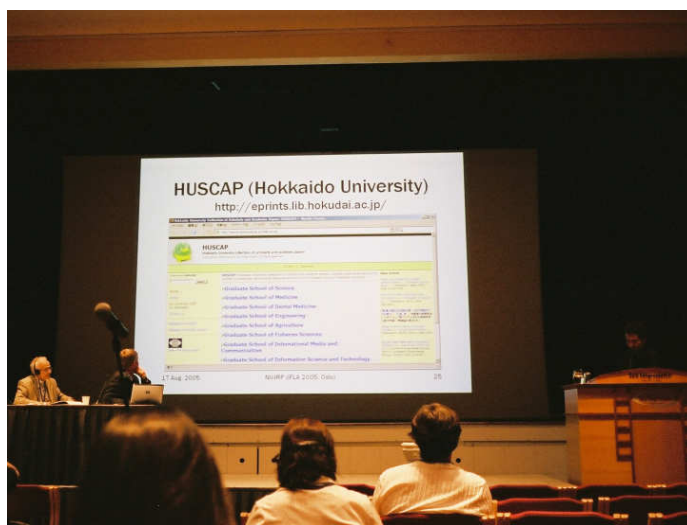
出張報告 国際図書館連盟（IFLA）年次総会

情報システム課システム管理係長 杉田茂樹

平成 17 年 8 月 14 日（日）から 18 日（木）にかけてオスロ市（ノルウェー）で開催された第 71 回国際図書館連盟（IFLA）年次総会に参加しました。同大会には世界中から 4000 名を超える図書館関係者が集まり、様々な情報、意見交換が活発に行われました。



会場（オスロ・スペクトラム）



発表の様子

「科学技術図書館」分科会では、ノルウェーにおける学術情報のオープン・アクセスに対する取り組み、米国科学技術機構（NIST）における研究情報提供の概要などに関する発表がありました。また、「逐次刊行物・継続資料」分科会では、雑誌危機やオープン・アクセスに触れる発表が多く、オックスフォード大学出版局からは同社のジャーナルが提供する各種オープン・アクセス形態の現況についての具体的数値による分析報告もありました。

「情報技術」分科会では「NII-IRP: National Portal to Nation-Wide University Institutional Repositories Network Utilizing Open Source Software」と題した発表を行いました。同発表は、昨年度実施された国立情報学研究所「学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト」（北海道大学附属図書館も参加）の概要を中心に、国内各大学の機関リポジトリ整備の概況を報告したものです。なお、北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）のシステム構築には、同プロジェクトの成果を利用しています。

その他、オスロ大学において現地日本関係者との懇談会をもったほか、オスロ郊外にある「フリチョフ・ナンセン記念研究所図書室」を見学しました。同研究所は海洋探検家であるナンセン（1861-1930）の旧居であり、その一室を用いた小規模な図書室を見学し、同研究所の由来や海洋学・海事法を含む現在の研究活動等について説明を受けました。

最後になりましたが、今回の出張にあたって、国立情報学研究所ならびに附属図書館の皆様から多大なご配慮をいただいたことに感謝します。